

DENTAL STAFF STUDY GROUP FOCUS! 2025 VOL.2

歯周病患者の長期経過症例を通して見えてくる今後の治療戦略

講師：東克章 先生 / 東歯科医院



歯周治療の最終目標は、できるだけ多くの歯を残して生涯それらで快適に咀嚼できおいしく味わうことで全身の健康に寄与することである。

それでは日本人はどれだけ歯を残すことができているのであろうか？
8020達成者率でよく語られることであるが、平成28年歯科疾患実態調査によると8020達成者は2人に1人以上で過去最高(達成率51.2%)となったことが宣言された(80歳の人数は55名で健診会場に来れる元気な人のみ)。しかし8020データバンク調査が明らかにした日本人の口腔の真実は、1997年に調査した岩手県盛岡市近郊の葛巻町では無歯顎者率がなんと88.6%に達していたのである(盛岡市を含む9市町村の80歳全員の994人)。

う蝕や歯周病の予防、治療、再発予防はできないのであろうか？
私が手本にしているスウェーデンでは答えは「できる」である。その大きな理由は教育にあると思う。ご存知のように学童期からの歯周病の原因はバイオフィルム(プラーク)であり、歯周病はそれによる歯肉結合組織の炎症性疾患である。従って成功の秘訣は生涯を通じて炎症の原因であるバイオフィルム(プラーク)を自分自身の手で除去し続けることであるので、定期的に歯科医院を訪れ歯科衛生士から学ぶことが大切である。

今回はうまくいかなかった症例では何が足りなかったのか、うまくいった症例では何をやったから良かったのかを見ていただき、長期的に良好な結果を得るための必要条件について述べてみたい。

<東克章先生 profile>

- 1978年 日本歯科大学卒業
- 1978年 東京医科歯科大学第二保存学教室医員
- 1981年 東京医科歯科大学第二口腔外科教室医員
- 1982年 山内歯科診療所勤務(親子診療)
- 1985年 東歯科医院開業
- 1992年 日本歯周病学会認定医取得
- 1999年 日本歯周病学会指導医取得
- 1999年 歯学博士
- 2003年～ 東京医科歯科大学非常勤講師(歯周病科)
- 2004年10月 歯周病専門医
- 2018年 日本歯科医学会会長賞(地域歯科医療部門)受賞
- 現在 日本歯周病学会名誉会員

<詳細>

- 日時：2025年6月22日(日) 9:30~12:30
- 開催方法：会場&WEB (Zoom)
 - *会場は熊本市内となります。
 - *熊本在住の方は、なるべく会場に足をお運びください。
 - *WEB参加は県外、子育て、介護などをされている方を対象としています。
 - *WEB参加の方はお顔を出して受講してください。
 - *お申し込みをされた方がご参加ください。
 - *録音・録画は禁止しております。
- 定員：対面50名 WEB20名
- 詳細案内・請求書・資料は、
FOCUS!開催の10日から1週間前に郵送いたします。

<タイムスケジュール>

- 9:30~ 挨拶
- 9:35~ 東克章先生による講義
- 12:20~ 質疑応答・集合写真撮影
- 12:30 終了

<対象者・受講費>

- ・歯科衛生士・歯科技工士：6000円
- ・歯科医師：8000円
- ・歯科助手・歯科受付・その他の職種：5000円
- ・学生：無料

*ご都合により参加できなかった場合の返金は
致しかねますのでご了承ください。



← お申込みは、こちらのQRコードよりお願い致します。
確認メールが来ない場合は、迷惑メールフォルダに振り分けられていないかご確認ください。

問合せ先：MERCIMONDE LLC 代表 本田貴子
TEL：090-9651-4504 Mail：merci.and.merci@gmail.com